

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



心のスイッチ

今日から新しい1年がスタートします。

一昨年の始業式で「心のスイッチ」という話をしましたが、実は、「心のスイッチ」という詩を書いた方がいます。小学校の先生をしていた東井義雄さんです。今日は、その詩を紹介したいと思います。

人間の目はふしぎな目 見ようという心がなかったら 見えても見えない
人間の耳はふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いていても聞こえない
頭もそうだ はじめからよい頭わるい頭の 区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ！」と 心のスイッチが入ると
頭も素晴らしいはたらきをしはじめる
心のスイッチが 人間をつまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように

明日から新しい教室で勉強をしますが、同じ教室で、同じ勉強をしていても、同じようにできるようになるわけではありません。心のスイッチが入っているか、入っていないかで、ものの見え方が変わってきます。スイッチが入っていれば、何でもどんどんできるようになりますが、逆にスイッチが入っていなければ、何をやっても楽しくなくなってきます。

では、どうすればスイッチが入るのか。それは、何でも「やってみよう」と挑戦することです。初めてのことや、苦手なことは、なかなかそうも思えないかもしれませんが、この4月は心のスイッチが一番入るときです。ただ、やってみても上手くいかないことも多いかと思います。でも、挑戦した分だけ必ず皆さんの力となります。だから、うまくいかなくても、「よし、やってみよう」とどれだけ思えたかが大切です。

それでもうまくいかないことが続くと、スイッチを入れにくくなりますね。そんな時に頼りになるのが、友達です。悩んでいる友達がいたら、笑顔で「大丈夫だよ」「一緒にやろう」と声をかけてあげてください。また、七小の先生に相談してみるのもいいでしょう。

それではこの1年間も、「まいにち笑顔 みんなが笑顔」の七小にしていきたいと思います。